患者向医薬品ガイド
２０２３年５月更新

バルサルタン錠２０mg「タカタ」
バルサルタン錠４０mg「タカタ」
バルサルタン錠８０mg「タカタ」
バルサルタン錠１６０mg「タカタ」

【この薬は？】

販売名	バルサルタン錠２０mg「タカタ」Valsartan Tablets ２０mg “TAKATA”	バルサルタン錠４０mg「タカタ」Valsartan Tablets ４０mg “TAKATA”	バルサルタン錠８０mg「タカタ」Valsartan Tablets ８０mg “TAKATA”	バルサルタン錠１６０mg「タカタ」Valsartan Tablets １６０mg “TAKATA”
一般名	バルサルタン Valsartan			
含有量（１錠中）	２０mg	４０mg	８０mg	１６０mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬に属する薬です。
・この薬は、血管を収縮する作用のあるアンジオテンシンⅡと呼ばれる物質の働きを抑えることで血圧を下げます。
・次の病気の人に処方されます。
　高血圧症
・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

・過去にバルサルタン錠「タカタ」に含まれる成分で過敏症のあった人
・妊婦または妊娠している可能性がある人
・アリスキレンフマル酸塩を使用している糖尿病の人（ただし、他の血圧を下げる治療を並行して行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

・両側性腎動脈狭窄のある人または片腎で腎動脈狭窄のある人
・高カリウム血症の人
・脳血管に障害がある人
・厳重な減塩療法中の人
・腎臓に重篤な障害がある人
・血液透析中の人
・肝臓に障害がある人、特に胆汁性肝硬変及び胆汁うっ滞のある人
・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬［アリスキレンフマル酸塩（ラジレス）（糖尿病のある人に使用している場合、ただし、他の血圧を下げる治療を並行して行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）］や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

［成人の場合］

一回量	４０～８０mg
飲む回数	１日１回

・１回４０～８０mgを服用しても効果が不十分な場合には１回１６０mgまで増量されることがあります。

［６歳以上の小児の場合］

	体重３５Kg未満	体重３５Kg以上
一回量	２０mg	４０mg
飲む回数	１日１回	

・体重３５kg未満の小児の場合、１回２０mgを服用しても効果が不十分な場合には１回４０mgまで増量されることがあります。
・体重３５kg以上の小児の場合、１回４０mgを服用しても効果が不十分な場合には増量されることがあります。

●どのように飲むか？

コップ１杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して２回分を一度に飲まないでください。
気がついた時に、１回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は１回とばして、次の時間に１回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

著しい血圧低下（脱力感、ふらつき、めまい、立ちくらみ、気を失う）、意識レベルの低下（ぼーっとする、考えがまとまらない、判断力の低下）、循環虚脱（冷汗が出る、意識の消失、顔面蒼白（そうはく）、脱力感、ふらつき、立ちくらみ、めまい）があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・肝炎などの重篤な肝障害があらわれたとの報告があるので、肝機能検査がおこなわれることがあります。吐き気、嘔吐、体がだるいなどの症状があらわれた場合には、速やかに医師に相談してください。
・手術前２４時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、必ずこの薬を飲んでいることを医師に伝え、医師の指示に従ってください。
・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。

・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。
・この薬を使用中に妊娠が判明した場合や妊娠が疑われる場合（月経遅延、つわり症状、基礎体温を測定している場合は高温期の持続）は、速やかに医師に相談してください。
・妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。
特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。
・この薬の使用前及び使用中も定期的に医師や薬剤師が妊娠していないことを確認します。
・授乳している人は、医師に相談してください。

薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。
さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬情報センターにご相談ください。
≪妊娠と薬情報センター≫
（国立成育医療研究センター）電話：０３-５４９４-７８４５

・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血管浮腫 けっかんふしゅ	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、喉がつまる感じ、息苦しい、声が出にくい
肝炎 かんえん	体がだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、皮膚が黄色くなる、発熱、上腹部痛、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる
腎不全 じんふぜん	むくみ、尿量が減る、体がだるい
高カリウム血症 こうかりうむけっしょう	体のしびれ、体に力が入らない、吐き気、嘔吐、下痢、お腹が張る
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
失神 しっしん	短時間、意識を失い倒れる
意識消失 いしきしょうしつ	意識の消失
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
白血球減少 はっけっきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息苦しい、息切れ、発熱
低血糖 ていけっとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手足のしびれ、手足のこわばり、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
中毒性表皮壊死融解症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、関節や喉の痛み、発熱
天疱瘡 てんぽうそう	全身の皮膚や粘膜に大小の破れやすい水ぶくれ（水疱）やびらんが多発する
類天疱瘡 るいてんぽうそう	全身の皮膚に少し押した程度では破れない大小の水ぶくれ（水疱）が多発する、じんま疹の様な痒くて赤い発疹をともなうことがある、ごくまれに粘膜が癒着することがある

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体がかゆくなる、体のしびれ、体に力が入らない、寒気、出血が止まりにくい、疲れやすい、体がだるい、むくみ、けいれん、冷汗が出

部位	自覚症状
	る、発熱、ふらつき、脱力感、突然の高熱
頭部	めまい、意識の低下、意識の消失、短時間、意識を失い倒れる
顔面	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、顔面蒼白（そうはく）、血の気が引く、鼻血
眼	白目が黄色くなる、目の充血やただれ
口や喉	喉がつまる感じ、声が出にくい、吐き気、嘔吐、喉の痛み、歯ぐきの出血、咳、唇や口内のただれ
胸部	息苦しい、息切れ
腹部	食欲不振、上腹部痛、お腹が張る、お腹がすく
手・足	手足が冷たくなる、手足のしびれ、手足のふるえ、手足のこわばり、関節や喉の痛み
皮膚	皮膚が黄色くなる、あおあざができる、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、全身の皮膚や粘膜に大小の破れやすい水ぶくれ（水庖）やびらんが多発する、全身の皮膚に少し押した程度では破れない大小の水ぶくれ（水庖）が多発する、じんま疹の様な痒くて赤い発疹をともなうことがある
筋肉	筋肉の痛み
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る、尿が赤褐色になる
便	下痢
その他	ごくまれに粘膜が癒着することがある

【この薬の形は？】

販売名	バルサルタン錠２０mg「タカタ」	バルサルタン錠４０mg「タカタ」	バルサルタン錠８０mg「タカタ」	バルサルタン錠１６０mg「タカタ」
PTPシート				
形状	割線入りのフィルムコーティング錠	割線入りのフィルムコーティング錠	割線入りのフィルムコーティング錠	割線入りのフィルムコーティング錠

販売名	バルサルタン錠 ２０mg「タカタ」	バルサルタン錠 ４０mg「タカタ」	バルサルタン錠 ８０mg「タカタ」	バルサルタン錠 １６０mg「タカタ」
直径	５．６㎜	７．１㎜	８．１㎜	長径：１３．８㎜ 短径：５．６㎜
重さ	５６mg	１１０mg	１９０mg	３７０mg
厚さ	２．４㎜	２．９㎜	３．８㎜	５．９㎜
色	淡黄色	白色	白色	白色
識別 コード	TTS-０３０	TTS-０３１	TTS-０３２	TTS-０３３

【この薬に含まれているのは？】

販売名	バルサルタン錠 ２０mg「タカタ」	バルサルタン錠 ４０mg 「タカタ」	バルサルタン錠 ８０mg 「タカタ」	バルサルタン錠 １６０mg 「タカタ」
有効成分	バルサルタン			
添加剤	低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースカルシウム、クロスポビドン、結晶セルロース、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、タルク、ヒプロメロース、マクロゴール６０００、酸化チタン、黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ	低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースカルシウム、クロスポビドン、結晶セルロース、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、タルク、ヒプロメロース、マクロゴール６０００、酸化チタン、カルナウバロウ		

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：高田製薬株式会社
(https://www.takata-seiyaku.co.jp/)
くすり相談室
電話：０１２０－９８９－８１３
受付時間：９時００分～１７時００分
（土、日、祝祭日、弊社休業日を除く）